

## 介護が必要な家族と旅行する介護者は3割弱―第一生命経済研究所が調査

[医療介護CBニュース](#) 7月20日(金)15時5分配信

介護を必要とする家族と一緒に旅行したことがある介護者は、全体の3割弱であることが、第一生命経済研究所の調査で分かった。一方、旅行が家族に良い影響を与えると考える介護者は7割に達しており、介護を必要とする家族との旅行をなかなか実行に移せないでいる介護者の実態が浮き彫りとなった。

同研究所では、昨年11月、家族を介護している男女800人を対象に、アンケート調査を実施した。

現在、介護している家族と旅行したことがあるかについての質問では、「旅行したことがある」と回答した人は28.5%、「旅行したことがない」と答えた人は71.5%だった。

旅行したことがある人に、旅行先で行ったことを尋ねた質問(複数回答)では「温泉浴」が60.5%で最も多く、以下は「自然の風景を見る」(54.8%)、「特産品などの買い物・飲食」(43.4%)、「ドライブ」(32.9%)、「名所・旧跡を見る」(32.0%)と続いた。介護が必要な家族が旅行を楽しめたかどうかの質問では、「楽しめた」という回答が82.9%に達したほか、自分(介護者)が旅行を楽しめたかどうかの質問でも「楽しめた」と答えた人が73.2%を占めており、家族もその介護者も、旅行を高く評価していることが分かった。

介護が必要な家族と旅行したことがない人に理由を尋ねた質問(複数回答)では、「その家族が旅行するのは無理だと思うから」が40.6%で最も多く、以下は「その家族が旅行したがるから」(31.5%)、「自分に時間の余裕がないから」(24.7%)、「旅行することに対して不安を感じるから」(23.3%)、「自分にお金の余裕がないから」(20.6%)となった。

一方、介護が必要な家族が旅行することをどうとらえているかを尋ねた質問(複数回答)では、「心身のためになる」と思う人は76.6%、「旅行に連れていくことは親孝行になる」と思う人は72.0%に達した。

## ■「まず、既にあるサービスや情報源の周知を」

この結果を受け、調査・研究を担当した同研究所の水野映子上席主任研究員は、介護が必要な家族と介護者の旅行を阻害する主な要因として、▽介護者の不安▽時間・費用・情報の不足▽介護者が感じる家族の意欲の低さ—などを指摘。旅行を実行に移せない介護者が多い点については、「まず、介護が必要な人の旅行に関するガイドブックや専門の相談窓口など、既にあるサービスや情報源の周知が必要。また、温泉など入浴施設についても、介護が必要な人を意識した改善を進めてほしい」としている。

【多椋正芳】